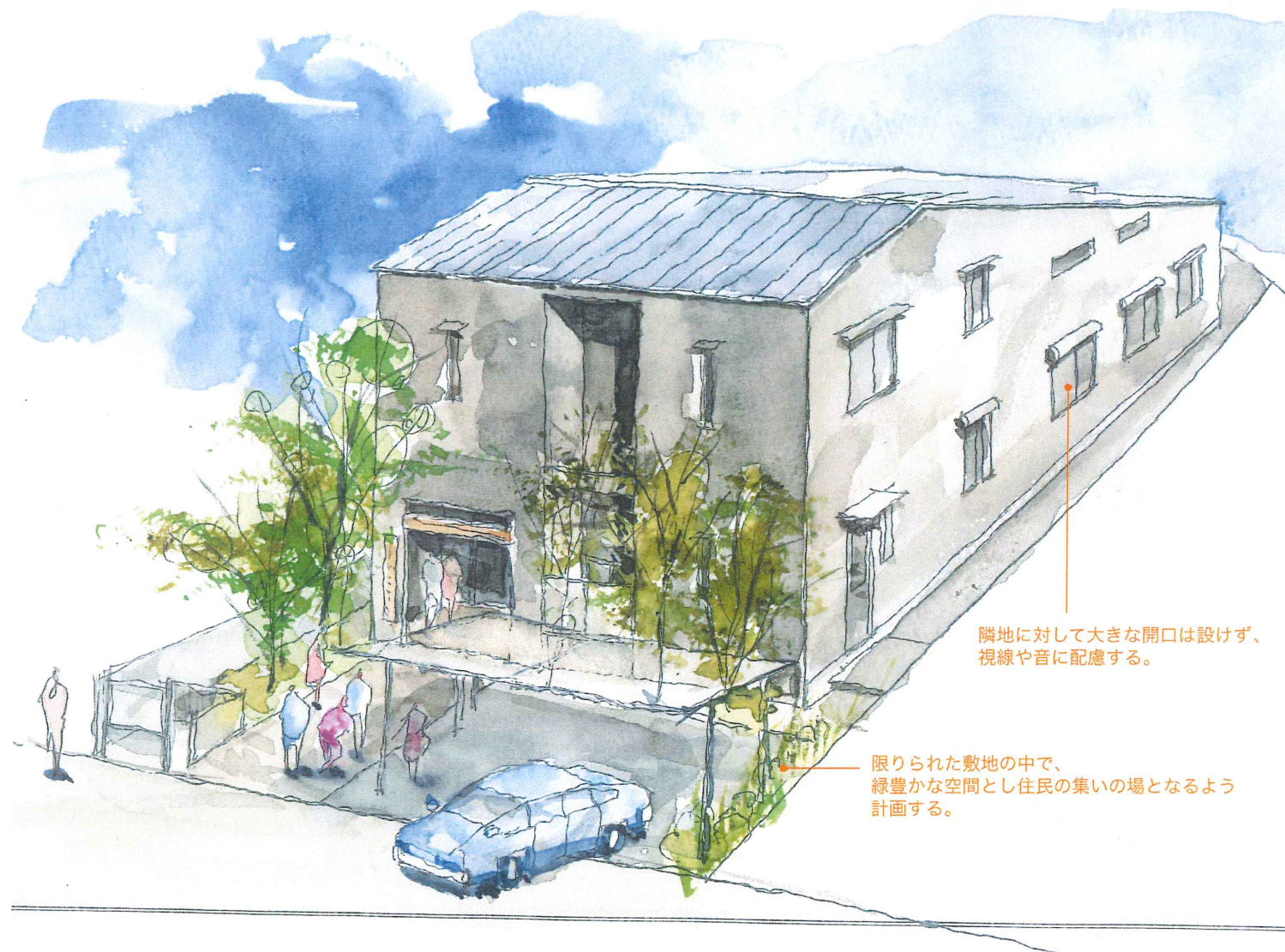


ゆったりとした大屋根で自治会館を覆う



隣地に対して大きな開口は設けず、視線や音に配慮する。

限られた敷地の中で、緑豊かな空間とし住民の集いの場となるよう計画する。

設計方針

まちに溶け込む自治会館

街並みに違和感がなく素直な景観と自治会館全体を1つの大屋根で包み込み、ゆったりとした空間をつくり出します。住宅スケールの外観はまちに溶け込みます。西側のファサードは西日を避け小窓を多用し、比較的壁面の多い、重厚な面とします。一度に多人数の出入りがある自治会館の為、ポーチ・玄関・ホールは広くゆとりのある空間を確保します。内部は引戸を多用し、高齢者にも優しいバリアフリーを極力目指します。また、階段は幅・踏面・蹴上を緩やかにすることで昇降しやすい計画とします。

耐震・防音

1. 安心できる耐震計画

木造としては大スパンが必要な大会議室は、より確実な耐震性と経済性を得るため使い勝手に支障のない位置の南・北側にそれぞれ2本ずつの柱を配置し、耐震性と利便性を確保します。

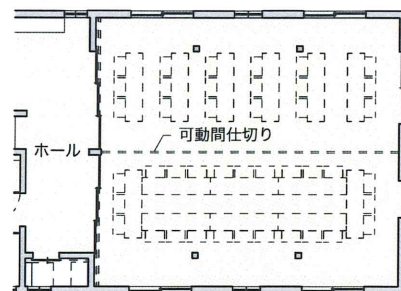
2. 周辺に配慮した防音計画

南北の会議室の壁は遮音シート施し、内部の壁や天井は反響音を防ぐ吸音ボード等を使用します。また、南北（隣地）面は大きな開口を設けないことで、防音対策及び視線に配慮します。

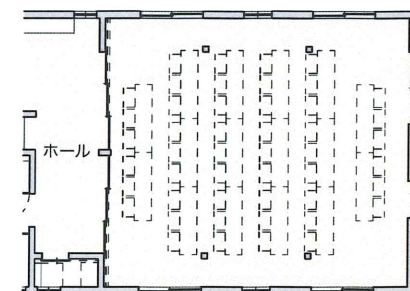
自由度

可変性のある会議室

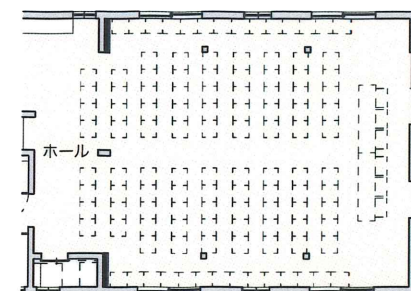
大会議室は可動間仕切りを使用することで2室に分割できる計画とします。また、総会等の多人数利用の際は、ホール間の建具を壁に引込み、ホールと会議室を一体化し広い空間を確保します。



分割利用イメージ
(並列案18席+囲い込み案24席)



机・イス 講習会など
(48席)

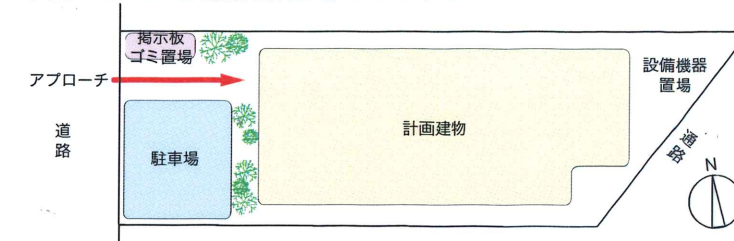


イスのみ 総会時
(120席)

配置計画

圧迫感のない緑豊かなファサード

前面道路側に駐車場・ゴミ置場・掲示板を設け、自治会館入口を奥にすることで、街並みに対して圧迫感のない配置計画とします。駐車場と建物の間は緑地を設けることで、限られた敷地面積の中でも緑を感じることができるよう計画します。南北の建物と隣地の間は、人が通れる程度の通路とし、東名高速道路際の通路と繋げます。東側の空地は設備機器置場とします。

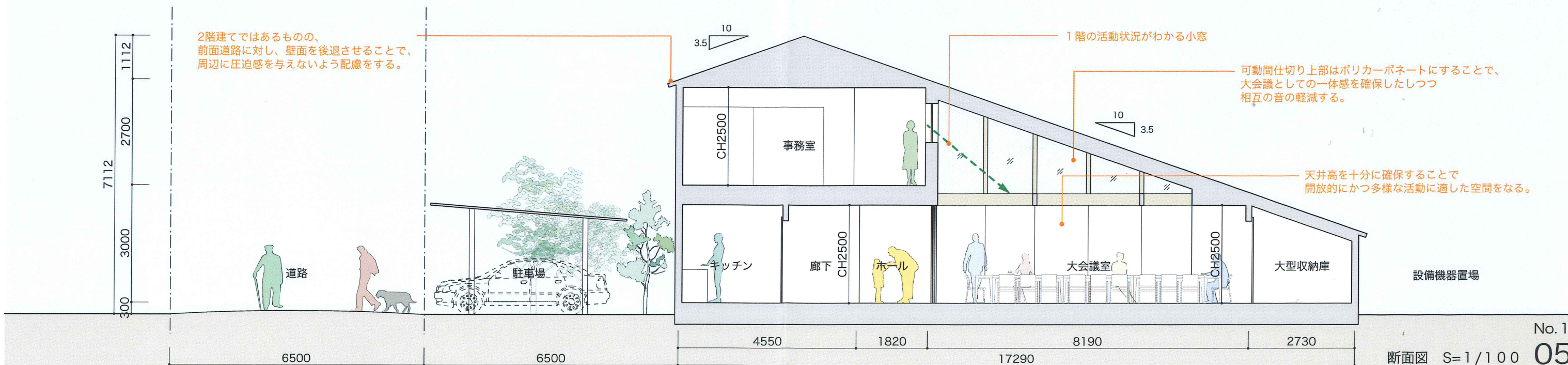


防災計画

一時避難所として機能する自治会館

メインの避難施設となる大会議室は、天井が高いことにより避難時は圧迫感がない生活が可能となります。キッチンおよび駐車場を一時炊出し場所として利用できるよう、勝手口を設けることで、一体的に効率の良い動線計画が可能となります。(キッチン→大会議室間の移動もスムーズ)

断面計画



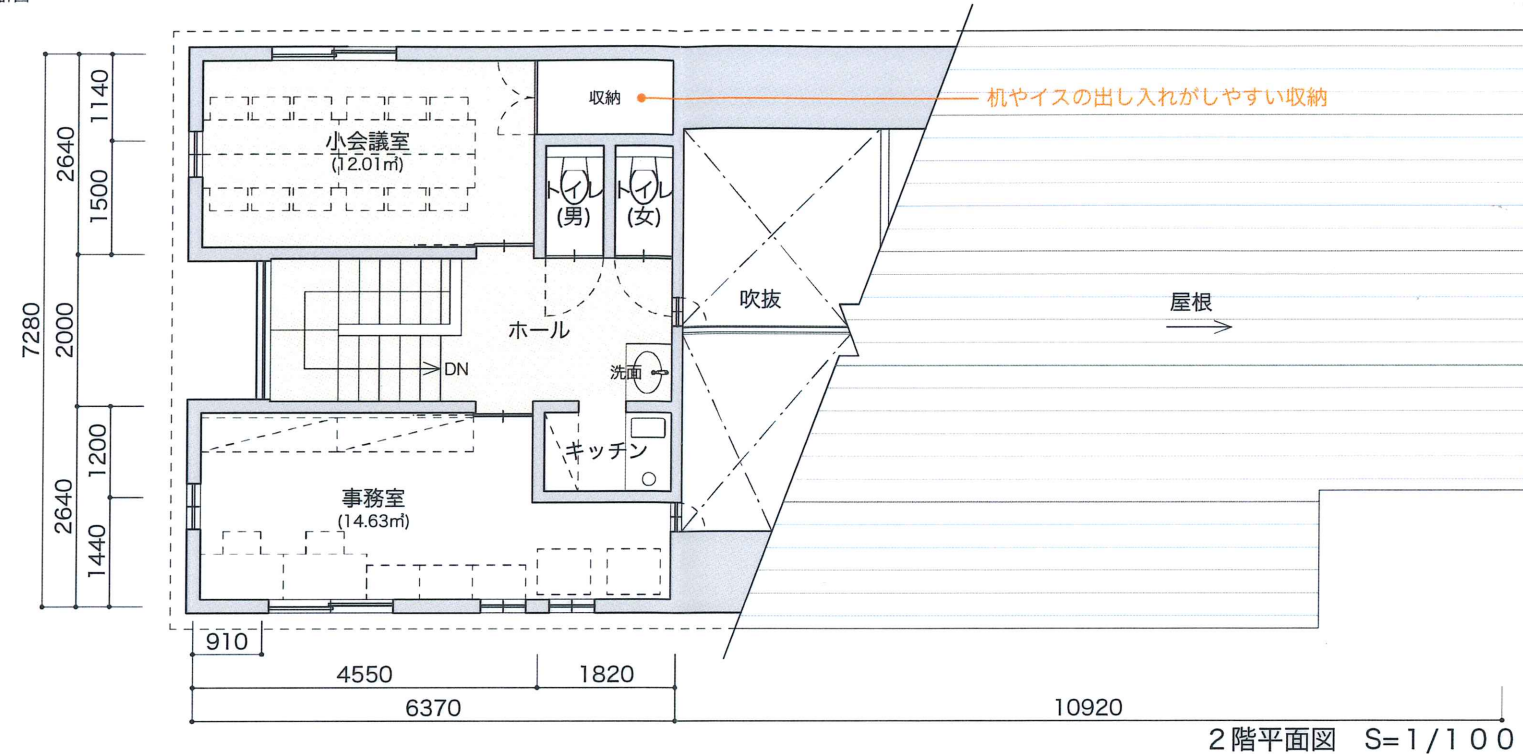


屋 根：カラーガルバリウム鋼板
外 壁：窯業系サイディング
開口部：複層サッシ
床：フローリング(一部ビニル床シート)
壁：ビニルクロス貼(大会議室：吸音ボード)
天井：ビニルクロス貼(大会議室：吸音ボード)

ガス：都市ガス
 空調：個別式ヒートポンプエアコン
 電気：LED照明
 通信：放送設備
 防犯：防犯カメラ(既存利用)、
 シャッター・面格子

コスト計画 -

既存建物解体費	:	1,700,000
本体工事費（建築）	:	30,100,000
設備工事費（電・機）	:	7,790,000
外構工事費	:	1,500,000
地盤調査費	:	50,000
電気ガス水道の敷設費	:	260,000
測量費	:	150,000
設計・工事監理料	:	3,900,000
小計	:	45,450,000
消費税 10%	:	4,545,000
総事業費	:	約50,000,000



2階平面図 S=1/100



平面計画

